

第78回 東葛しぜん観察会

冬の樹木ウォッキング in 柏の葉公園

中川康代（流山市）

日 時：2012年3月4日（日）9時～12時30分 天気：曇り

場 所：柏の葉公園（柏市）

参加者：一般38名（内子ども1名）指導員17名

担当指導員：木村将夫、中川康代、渋谷孝子

開園して20年程経ち、樹木も大きく成長した柏の葉公園での観察会でした。多種多様な樹木が植栽された公園ならではの特徴で、自然林とはまた違う樹木の表情をみることができます。

今年の冬はこのほか寒かったため、植物たちの目覚めも遅いようでしたが、春を待つこの時期だからこそ見ることができる樹木たちの姿を観察して回りました。とりわけ参加者の皆さんのが興味を引いたのは、寒さから身を守る植物たちの知恵だったようです。例えば、寒い時期にリョウブの冬芽を覆っていた芽鱗が剥がれて、今はナポレオンハットのようになっている様子やトチノキやコブシの冬芽が、それぞれベタベタとした樹脂やフワフワな綿に包まれている様子を手で触って確認して楽しみました。それから、花も葉も出ていない冬の樹木でも、実は色々な楽しみ方があるということを実感した参加者もいたようです。例えばアジサイの葉痕をルーペで観察した際に、「可愛い顔」「歌っているようだ」との声も聞かれましたし、他にイスノキの虫こぶ（ヒヨンの笛）を皆で吹いてみたところ、いろいろな音が出て、すてきな合奏会となったのも好評でした。

このように、実際に目で見、耳で聞き、鼻で嗅ぎ、手で触る、という行動を通して樹木と触れ合うことで、一見普段の生活の中で見過ごしがちな冬の樹木の楽しみ方を学ぶことができ、より一層深い自然理解につながったことだと思います。ただ、「資料や写真がもっと欲しかった」という声もありましたので、参加者の手元に残る資料をより洗練させることができ、次回の課題の一つになるかと思います。たいそう寒い日でしたが、最後までお付き合い下さった参加者、指導員の皆さんに感謝いたします。

<参加者の感想から>

- ①冬芽の見かたが分かり興味がわきました。
- ②樹木の生命力の素晴らしさに感動しました。
- ③これからも注意深く散策したい。
- ④何気なく歩いている公園も、実にたくさんの事を教えてくれるものだなあと実感しました。
- ⑤樹木に対する興味がわいてきました。
- ⑥資料や写真がもっと欲しかった。

